



2025 年 7 月18日

株式会社商船三井さんふらわあ

大洗～苫小牧航路の新造 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ ぴりか」営業航海開始
～商船三井グループ4隻目となる LNG 燃料フェリーが就航～

株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、7月18日(金)新造 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ ぴりか」(以下「本船」)の営業航海を開始しました。本船は、2007年1月より運航を続けた大洗～苫小牧航路の「さんふらわあ しれとこ」の代替船として 2025年6月に竣工、その後習熟航海を経て 2025 年7月18 日(金)1 時 30 分苫小牧発深夜便として営業航海に就きました。

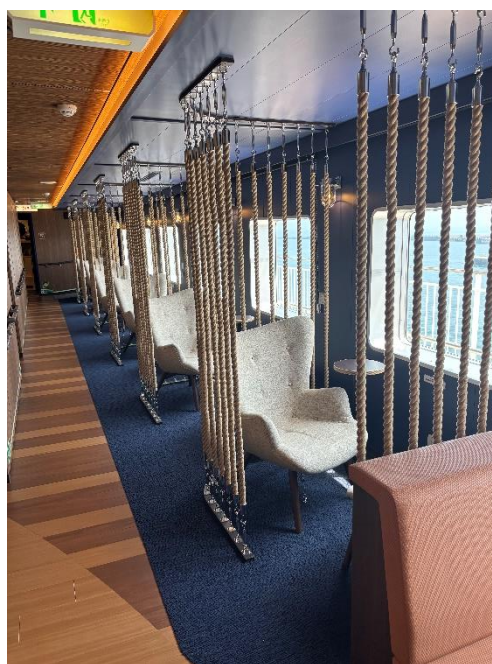


本船は2025年 1 月に就航した「さんふらわあ かむい」の同型船です。LNG(液化天然ガス)を主燃料とし、航行時の風圧を低減する最新の船型を取り入れることで、従来船比約 35%のCO2(二酸化炭素)排出量を削減、環境負荷の大幅な低減を実現します。

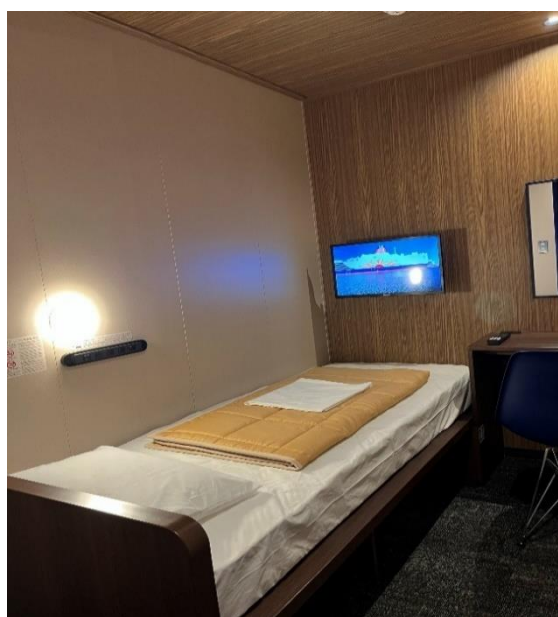
また、本船の就航により、当社北海道航路深夜便の客室は全室個室となりました。トラックドライバーの方々に快適に休息いただける空間を提供し、モーダルシフトの流れをよりいっそう促進します。本船は、「かむい」と同様にプロムナード、展望浴場・サウナなどの充実したパブリックスペースを備えますが、プロムナードの内装はカラーリングに変化を付け、より落ち着いた印象となっています。



プロムナード(右舷側)



プロムナード(左舷側)



コンフォートS シングル

商船三井グループは、2050 年までにネットゼロ・エミッションを達成することを目指しており、「[商船三井グループ 環境ビジョン 2.2](#)」に沿って、今後も脱炭素・低炭素化実現に向けた「クリーン代替燃料の導入」戦略を推進していきます。内航フェリー事業における環境対応をリードすると共に、将来的には LNG に代わる新燃料の採用も選択肢として研究、検討を続け、業界に先駆けて積極的に取り組んでいく方針です。

■「さんふらわあ かむい」「さんふらわあ ぴりか」関連プレスリリース

[2025年1月22日付大洗～苫小牧航路の新造 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」営業航海開始](#)
[2024年9月4日付大洗～苫小牧航路就航予定の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ ぴりか」の命名・進水式を実施](#)

[2024年4月11日付大洗～苫小牧航路初の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」の命名・進水式を実施](#)

[2024年1月22日付「大洗～苫小牧航路 新造LNG燃料フェリー船体デザインについて」](#)

[2022年2月17日付「最新鋭LNG燃料フェリー2隻の建造を決定」](#)

■「さんふらわあ くない」、「さんふらわあ むらさき」関連プレスリリース・お知らせ

[2023年1月16日付「日本初のLNG燃料フェリー「さんふらわあ くない」が大阪～別府航路に就航しました。」](#)

[2023年4月17日付「LNG燃料新造2番船「さんふらわあ むらさき」が就航 大阪～別府航路 4月14日（金）営業航海開始」](#)

商船三井グループが設定した 5 つの[サステナビリティ課題](#)

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題（マテリアリティ）」を特定しています。本件は、5 つのサステナビリティ課題の中でも特に「Safety & Value -安全輸送・社会インフラ事業を通じた付加価値の提供-」、「Environment -海洋・地球環境の保全-」、「Innovation -海の技術を進化させるイノベーション-」にあたる取り組みです。

